

第3回とくち佐波川かわまちづくり協議会議事録

日 時 令和4年11月18日(金) 15:00~16:30

場 所 徳地文化ホール 2階会議室

【出席委員】

会長(徳地地域づくり協議会)	板 垣 幸 男
副会長(出雲地域づくり協議会)	吉 松 桂 二
関係自治会を代表(須路下自治会)	藤 本 達 也
徳地商工会(青年部長)	則 安 聡 一 郎
シニア山口(山口市老人クラブ連合会)徳地支部	山 本 清 作
山口観光コンベンション協会徳地支部	池 田 大 乗
佐波川漁業協同組合	中 島 伸 廣
徳地ふるさと資源活用協会	北 川 武 典
とくち夏祭り花火大会実行委員会	野 村 新 一 郎
とくち行って美夜実行委員会	安 田 紀 之
一般募集	有 近 隆 司

【欠席委員】

島地地域づくり協議会	松 尾 富 美 子
徳地中学校PTA	友 景 太 一
中央小学校PTA	栗 屋 浩 一 郎
徳地地域協育ネット推進本部	西 村 和 茂
山口市民生委員児童委員協議会	藤 井 初 代
山口市連合婦人会徳地支部	蕨 昭 子

【事務局】 徳地総合支所 土木課

【オブザーバー】 国土交通省 2名

【次第】

1 会長挨拶

2 本日の会議のねらい

- ・「かわまちづくり」の当事者意識が持てる
- ・「かわまちづくり」を立案する(第1回目)

3 展開

- (1) 佐波川流域の「かわまち」候補地を見る
現状確認(防府高校佐波分校付近・出雲合橋付近・佐波川と島地川合流付近)
- (2) なぜ「かわまち」なのか
- (3) 検討会で作成した「かわまちづくり」(案)を観る
＜着眼点＞ 3つのゾーン・エリア設定
 - ・人を集めたい
 - ・安らぎを求めたい → イベント等取り組みたいこと
 - ・健康づくりをしたい 必要と思う施設・整備
 - ・その他
- (4) ワークショップ
- (5) 大型地形図の該当箇所を立案する

4 事務連絡

次回の取り組みについて

【議事録】

2 本日の会議のねらい

A委員 今回から私のほうで進めさせていただきたい。というのが、国交省も市もいらっしゃるが、住民側のいろいろな要望が出て、ちゃんと青写真が出来ないことにはその先に進めないと言われるので、我々が積極的に地域の課題として取り上げてしっかりと議論して、何が欲しいのかどうしたらいいのかとかしっかりと議論しようというふうに考えている。まず、お手元のレジュメで今日の流れを説明したい。本日の会議のねらいだが、かわまちづくり協議会が発足して第3回目となるが、私自身が思うところがあって、我々一人一人が当事者意識を持っているのかということ、なぜかわまちづくりに取り組むのか、何をしたらいいのかというようなことをしっかりと自覚しているのかが気になった。当事者意識、自分たちの問題であることが持てるようになりたいというのがある。そして、かわまちづくりを立案するということだが、そういう当事者意識を持って具体的にいろいろな候補地をまず我々が挙げてみて、そこに何が必用なのか、どういう施設があったらいいのかをまずは考えてみたい。今日は第1回目ということだが、そのようなものが簡単にできるとは思っていない。見通しとしては今年度中、3月までに煮詰めていって、住民側の案を作り上げていったらいいのではと思っている。作ったところで、市や国交省に突き返されるかもしれない。そうしたらめげずにさらに納得してもらえるようなものを作り上げていくというふうに考えている。当初の予定では、来年の5月に計画を国交省に出す予定にしていたが、間に合わないということを聞いている。というのも、10月くらいまでには今我々がやろうとしている立案作業が出来上がっていないからいけない。それが全く出来ていない。今からやるということはまさに遅きに失するということだが、いたしかたない。とにかく今から頑張ってきて来年の3月までを目途として、しっかり皆さんと協議しながら立案出来たらと考えている。まず、レジュメの展開のところを見てもらうと、佐波川流域のかわまち候補地を見るというのをやろうと思う。現状確認として、防府高校佐波分校付近と出雲合橋付近と佐波川と島地川合流付近という3つの候補地をあげているが、これはまだ確定したものではない。我々が検討する会を立ち上げた時に、とりあえずこの辺りがいいのではないかとあげた候補地である。あくまでもこれは参考である。話し合いを今後スムーズにしていくために、まずは候補地を挙げて、何が必要か考えてほしいと思ってあげた。なので、これは確定ではないということを頭に入れておいていただいて取り組んでいただきたい。

次になぜかわまちなのかというのをお話したい。それから、検討会で作成した「かわまちづくり(案)」を観るだが、お手元の閉じた冊子があると思うが、これは検討する会で1年間かけて作り上げた案である。これについては、検討したものをZさんがまとめてスライドにしてくれたものを発表してもらう。そのあとそれをたたき台にしてみなさんでしっかりと考えていただき、まず第1回目の立案をしていただくという流れにしていこうと思っている。

3 展開

(1)佐波川流域の「かわまち」候補地を見る【スライド】

・佐波川流域のかわまち候補地の鑑賞・現状確認

防府高校佐波分校付近、出雲合橋付近、佐波川と島地川合流付近

(2)なぜ「かわまち」なのか

A委員

まずは、徳地の現状を知ってほしい。徳地地域の人口の移り変わりをを見ると、1950年には2万人くらいいた。それが今は5千人。4分の1になっているという現状がある。人口ピラミッドを見ても、いびつで逆三角形の典型となっている。超高齢化。14歳以下が6.7%しかいない。それに対して90歳以上が21%。4割を占めている。非常に深刻な高齢化の現状にある。あきらめるのか、可能性を見出すのか。複合型拠点施設が出来たことにより、防長ターミナルから、支所などの行政機能、図書館などの文化的機能、丸久などの商業的な機能など、あらゆる機能が防長ターミナルを中心として300メートル以内に集まっている。これはコンパクトシティ。堀が徳地の中心拠点になろうとしている。そして今年から交通体系も変わった。防長ターミナルに向かって、串、島地、八坂、柚野のほうからのバスが改善された。堀に来ればかなりの機能が充実している。まさにコンパクトシティとなる可能性がある。可能性を求める取り組みとは何か。やはり人口を増やさないといけない。でも高齢化で人が減少している。ではどうしたらよいか。まず交流人口を増やす。これは内部努力。我々がかわまちを通していろいろなところに人々が集える場所、安らぎを求める場所、そういったところを作っていけば外部から来てもらえるのではないかと。実際サイクリングロードがあるので結構人は来ているが、もっと増える可能性がある。これは内部努力なので、我々が手をこまねいては何にも出来ない。我々が当事者意識を持って努力していけば、人が来てくれるのではないかと。それから関係人口の増加。花火大会の時には、内外から1万人近くが集まっていた。これは交流人口。交流人口はイベントが終わったらなくなってしまう人口。関係人口というのは、外に住んでいるが、徳地のことに興味・関心をもって手伝ってくれる人口。これを増やしたい。交流人口が増えれば、その中に関係人口も増えるかもしれない。それを我々は期待したい。内外連携と書いてあるのは、我々は当事者意識を持って、いろいろな取り組みを展開する。にぎやかな過疎。過疎だけと賑やかである。我々が当事者意識を持っていろいろなことに取り組んでいけば、必ず興味を持ってもらえる。関係人口が増えたら、徳地はいいところだなあ、住んでみたいなあといった定住人口になっていく可能性が十分にある。そうした流れを作ろうというのが、かわまちづくりの大きなねらいではないかと考えている。あきらめるのではなく、可能性を追求し、徳地を誇りある町にしていきたいと思いますということである。かわまちにその可能性を見出すことができないか、みんなで考えてみませんか。というのをこれからみなさんに考えていただくことになる。

(3)検討会で作成した「かわまちづくり」(案)を観る …スライド(解説:Zさん)

A委員

今スライドを観ていただいたが、これはたたき台ではあるが、我々が検討会を立ち上げて1年がかりで作り上げたものである。その背景には当事者意識をもってなんとかせんといけないという思いで出来上がったものだと確信している。これはすぐ出来るものではない。じっくり練って来年の3月くらいまでを目途にこういったものを作り上げたらいいのではないかと考えている。

ここからは、グループに分かれていただいてワークショップにはいる。A班は佐波分校付近についてたたき台を基にして立案してほしい。B班は出雲合橋付近、C班は佐波川と島地川合流付近で立案をお願いする。それで、レジュメにあるような表を作ってほしい。着眼

点は、人を集めたいとか、安らぎを求めたいとか抽象的でいいのでそういうことを最初に挙げてほしい。次に、該当する箇所をどういったエリアにしたいか、例えば希望と安らぎのエリアとかそういった明るい未来を予測させるような名称をつけてほしい。次に着眼点に沿った具体的なイベントや取り組みたいこと、やりたいことをあげてほしい。それからそれに伴って必要と思う施設を挙げてほしい。筆記用具と附箋で大判用紙に張り付けていてほしい。とにかく第1歩なので、思い付きでもいいのでいろいろあげていてほしい。

(4)ワークショップ(30分程度)

・立案場所

A班・・・防府高校佐波分校付近

B班・・・出雲合橋付近

C班・・・佐波川と島地川合流付近

4事務連絡

A委員

時間になったので本日は終了とする。次回は、大きな地図と大判用紙を基にして場所を確認しながら発表してもらおうが、発表の前には話し合いの場を設けたいと思う。ねらいはみなさんの共通意識を図ること、みんなが理解しあうこと。こうして煮詰めていこうと思う。次回は、12月14日(水)10時にしようと思うが、詳細はまた連絡する。